

敦賀発電所の近況について

敦賀発電所の近況について、以下のとおりお知らせします。

1. 発電所の状況について（2026年3月2日現在）

| | |
|-------------------------|---|
| 1号機 沸騰水型 | 廃止措置中（2017年4月19日～） ・建屋内廃棄物移送ルート等確保に伴う機器解体工事（2024年10月1日～） |
| 2号機 加圧水型 (116万kW) | 第18回定期検査中（2011年8月29日～未定） 新規制基準適合性確認の申請に向けた取り組み ・追加調査実施中（2025年9月16日～） 【別紙】 |

() 内は定格電気出力

<新規制基準への適合性審査に係る申請状況>

| | 申請 | 申請日 | 補正日 | 許認可日 |
|-----|----------|-----------|-----|------|
| 2号機 | 保安規定変更認可 | 2015.11.5 | — | — |

2. 故障等の状況について（2026年2月3日～2026年3月2日）

- (1) 法律に基づく報告事象
なし
- (2) 安全協定に基づく異常時報告事象
なし
- (3) 保全品質情報等
なし

3. 敦賀発電所3, 4号機 準備工事について（2026年3月2日現在）

現在、原子炉建屋背後斜面の緑化管理等の建設予定地維持管理及びコンクリート製造・供給プラントの設備維持管理等を継続して行っています。

4. その他

- (1) 敦賀発電所1号機 クリアランス対象物に係る放射能濃度の測定及び評価方法の認可申請の補正について
当社は、敦賀発電所1号機の運転・保守、廃止措置に伴い発生するクリアランス対象物に係る放射能濃度の測定及び評価方法の認可申請書を原子力規制委員会に提出後、審査基準及び規則の制定を踏まえ、クリアランス対象物の変更及び測定・評

価方法の変更を行い、これらを反映した補正書を原子力規制委員会に提出しました。

(2016年9月13日、2025年9月26日お知らせ済み)

2月18日、これまでの審査等を踏まえて記載内容の一部を適正化した補正書を原子力規制委員会に提出しました。

(2026年2月18日お知らせ済み)

(2) げんでんふれあいギャラリー催し物のご案内について

【開館時間 9:30~16:30】

<個人・グループでの芸術活動、趣味の発表の場としてご利用いただいています>

① 敦賀教会幼稚園 作品展示

敦賀教会幼稚園(代表:有岡 史季 様)の園児の皆さんの作品展です。絵具やクレパスを使って、元気いっぱい描かれた作品を180点展示予定です。

(3月3日~3月7日(最終日は15:00まで))

② 第10回記念 木上 紀治 水彩画展

今回で10回目となる、木上 紀治 様による水彩画展です。敦賀市及び京都市、滋賀県の風景画等を35点展示予定です。

(3月10日~3月15日)

③ 第40回玄々社書展

玄々社(代表:稲垣 楽水 様)の15名の皆様による作品展です。書道愛好者の多彩な表現の前衛書などの作品を15点展示予定です。

(3月17日~3月22日)

④ 101匹わんにゃん展 —しっぽの優しさ届けます—

当ギャラリーでは初となる、曾田 由華 様による写真作品展です。ペットと暮らす中で生まれる愛情や動物たちのまなざしなどの作品を101点展示予定です。

(3月24日~3月29日)

以上

敦賀発電所2号機 新規規制基準適合性確認の申請に向けた現地調査

現在、現地における追加調査を行っています。掲載している写真は「その他の破碎帯等」の調査を目的とした作業の一つとして、調査坑の掘削にあたり立坑の掘削作業を行っているものです。引き続き、安全確保を最優先に調査を進めてまいります。

| 項目 | 調査目的 | 調査位置・概要 | 実施状況 |
|----|-----------|---|--------------|
| 1 | K断層の分布と性状 | (1) K断層が屈曲している箇所における岩盤までの掘削や、D-1トレンチの地下深部までのボーリング調査を行う。 | 現地調査中 |
| 2 | K断層の活動性 | (2) <ul style="list-style-type: none"> D-1トレンチの北西法面のボーリング等による地質の詳細調査を行う。 ふげん道路ピットの上載層から採取したブロックの内部構造をCTで確認する。 | 現地調査中 |
| 3 | K断層の連続性 | (3-1) ふげん道路ピットを岩盤まで掘削し、K断層が南方に連続していないことを直接確認する。 | 現地調査中 |
| | | (3-2) ふげん道路ピットから敦賀発電所2号機原子炉建屋側への延長部において、調査坑によるK断層の追跡調査を行う。 | (3-1)の調査後に対応 |
| 4 | その他の破碎帯等 | (4) 原子炉建屋周辺の地質、破碎帯の性状、原子炉建屋直下の破碎帯の活動性、その他の破碎帯の分布、活動性等について、ボーリング調査、調査坑による調査を行う。 | 現地調査中 |

<追加調査概要>

立坑掘削イメージ図

立坑掘削イメージ図

約200m

約3m

約10m

約30m

立坑

調査坑

D-1トレンチ南方での調査

D-1トレンチ

補注: 本図のK断層は標高-15mにて推定される位置を示したもの

浦底断層

【凡例】

← 作業箇所撮影方向

(3-2) K断層の連続性調査 (原子炉建屋側への追跡調査)

調査坑

立坑

約200m

2号機

(4) 原子炉建屋周辺の地質、破碎帯の活動性等 (調査坑による岩盤中での面的な調査)

掘削作業全景

立坑内部

【その他の破碎帯等】調査坑の掘削

- ・地下約30mに調査坑を掘削します。
- ・調査坑の掘削にあたり、資機材の搬入・土砂搬出に必要な立坑を掘削しています。